

(R7.10.3 賛成討論 池田)

議案第 5 1 号 令和 6 年度多賀城市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、
議案第 5 2 号 令和 6 年度多賀城市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、
議案第 5 3 号 令和 6 年度多賀城市一般会計決算及び各特別会計決算の認定について、
議案第 5 4 号 令和 6 年度多賀城市水道事業会計決算の認定について、
議案第 5 5 号 令和 6 年度多賀城市下水道事業会計決算の認定について の各議案に、
賛成の立場から討論をいたします。

多賀城創建 1 3 0 0 年という節目の年となった令和 6 年度は、関連イベントの開催のほか、多賀城南門及び多賀城跡ガイダンス施設の完成、そして多賀城碑が国宝となるなど、まさに記憶にも記録にも残る記念すべき年となりました。

多賀城創建 1 3 0 0 年記念関連事業費として、担当課分で 1 億 9, 1 5 2 万 5 千円、市内全体で 5 5 事業、計 9 億 8, 3 6 9 万円の決算となりましたが、多賀城創建 1 3 0 0 年記念実行委員会の構成メンバーである県や報道機関と一体となった発信により、市内外の多くの方に多賀城の歴史や魅力を知っていただくことができました。その結果として、観光客が目に見えるほど増加したほか、市民アンケートによる「まちに賑わいがあると感じる市民割合」「暮らしの中に多賀城らしさを感じる市民割合」が増加したことは高く評価いたします。今後は、ふるさと納税の増収や地域経済への波及など、本市にお金が循環する仕組みの構築につなげていただきたいと強く期待いたします。

一般会計全体につきましては、基金再編に伴う繰入金及び積立金を除き、
歳入総額 2 8 3 億 2, 7 7 5 万 1, 9 2 0 円、
歳出総額 2 7 8 億 7, 9 5 5 万 6, 3 1 1 円となり、令和 5 年度と比較すると、
歳入総額で 4 億 3, 6 0 0 万 6, 7 3 0 円の減、
歳出総額で 6 億 8, 1 6 3 万 7, 3 8 5 円の減となりました。

これは、普通建設工事費の減によるものが大きく、人件費や扶助費といった義務的経費は令和 5 年度比で大幅に増加しております。そのような厳しい財政状況においても、一般財源も投入し、水道料金減免事業等の物価高騰対策関連事業の実施や、就学援助制度の対象を拡大により小中学校児童生徒 2 8 人が新たに対象となりました。

歳入については、市税における地方税統一 QR コードを利用した納付方法の導入などによる利便性の向上や滞納整理の推進により、収納率が向上し滞納額が減少いたしました。また、市税以外についても、災害援護資金貸付金の滞納者に対する支払督促の実施など滞納整理の取組が進みました。

(R7.10.3 賛成討論 池田)

また、多様化する行政ニーズにより職員の業務負担が増す中にあっても、RPAによる業務効率化により、職員の平均残業時間が短くなるなどの成果につながりました。今後は一部事業で取組が進んでいるA Iの活用を広げていただき、職員が施策立案に注力できる環境づくりに取り組んでいただきたいと思います。

各特別会計及び企業会計については、厳しさを増す財政状況においても、今後の財政見通しをしっかりと考慮した上で、適切な受益者負担を算定したことで、堅実な財政運営が行われました。

令和6年度は深谷市長の1期目の集大成であるとともに、2期目のスタートとなりました。市長が「市民幸福予算」と銘打った令和6年度予算が適正に執行されたことを評価するとともに、引き続き前例にとらわれることなく事業の集中と選択により、持続可能な行財政運営に努めていただくことをご期待申し上げ、賛成討論といたします。